



総合研究大学院大学・学術映像教育検討会関連事業

映像に見るイスラームの〈周縁〉

若手人類学者の民族誌映像上映会

「春のみんなくフォーラム 2010年 西アジア再発見」関連イベント

イスラーム世界の地理的〈周縁〉にいるムスリム、あるいはイスラーム世界の中に生きる宗教的マイノリティ、彼らの生活・儀礼に関する民族誌映像を6本まとめて上映します。若手の人類学者たちによる、これらの短編作品をふまえて、イスラームに「中心と周縁」、「正統と異端」はあるのか、といったテーマでコメンテーターを交えて、上映後に座談会を開きます。

トルコ、インドネシア、バングラデシュ、ベトナム、中国などのムスリム、あるいはイスラエルのアラブ人キリスト教徒などの暮らしや儀礼を紹介します。貴重な映像とその制作者たちが一堂に会する、またとない機会です。



2010年2月13日(土)・3月7日(日) 10:50~16:40 [開場10:30]

会場: 国立民族学博物館 2階第5セミナー室

定員: 96名(申込不要) 参加費: 無料

共催: 総合研究大学院大学・国立民族学博物館

協力: 京都大学 イスラーム地域研究センター(KIAS)

映像に見るイスラームの〈周縁〉 若手人類学者の民族誌映像上映会

上映作品

①『バングラデシュ農村社会における割礼の変容』

南出和余(日本学術振興会特別研究員・京都大学地域研究統合情報センター 研究員)

バングラデシュ農村社会のイスラム家庭では、男児が「イスラムになる」あるいは「一人前になる」ための通過儀礼として、割礼がおこなわれる。本作品では、ある農村でおこなわれた2人の男児の割礼の様子から、近年変容しつつある割礼の意味を捉えたい。

【第20回パルヌ国際ドキュメンタリー人類学映画祭「科学ドキュメンタリー最優秀賞」受賞】

②『帰真する友をおくる—西安回族の葬送儀礼』

今中崇文(総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻 博士後期課程)

本作品は、中国・西安市にあるモスクで営まれた、ある回族男性の葬送儀礼の様子を記録したものである。参列者による哀悼の表現に焦点を当てながら、同じモスクに所属する宗教指導者や信徒たちのつながりを描き出すことを目指している。

③『食べさせること、生きること

—イスラエルに生きる、あるアラブ人キリスト教徒女性の半生—』

菅瀬晶子(総合研究大学院大学葉山高等研究センター 上級研究員)

ユダヤ人国家イスラエルで、アラブ人として、キリスト教徒として、女性として生きる初老の料理人の日々を、信仰への誇り、家族や故郷への思いに焦点を当てて追う。

④『変わりゆく「伝統」—トルコ・アレヴィーの儀礼ジェム』

米山知子(神戸学院大学地域研究センター PD研究員)

イスラーム教スンニー派が多くを占めるトルコにおいて、アレヴィーは困難な立場を強いられてきたが、ジェムと呼ばれる独自の儀礼を行ってきた。本作品は都市におけるジェムの様子を当事者たちのインタビューと共にまとめたものである。

⑤『もう一つのラマダン: ベトナム中南部チャム族バニのラムワン儀礼』

吉本康子(国立民族学博物館 外来研究員)

本作品は、ベトナム中南部にあるチャム人の居住地において太陰暦9月(ラマダン)に行われる年中行事「ラムワン」の様子を記録したものである。

⑥『護りの時空-インドネシア・西スマトラの伝統的身体技法』

村尾静二(総合研究大学院大学 助教)

インドネシア、西スマトラのミンカンカバウ人は、世界最大規模の母系制社会を築き、イスラームの信仰が厚い。本作品は、母系氏族が営む礼拝所、スラウにおいて伝承される護身の技シレ(silek)を対象とし、わざ、社会、宗教の視点から、この技法をささえる文化的意味を探る。

タイムテーブル

	2/13(土)	3/7(日)
10:30	開場	
10:50-11:00	開会のあいさつ	
11:00-11:30	①	④
11:30-12:00	②	③
12:00-13:00	休憩	
13:00-13:30	③	①
13:30-14:00	④	⑤
14:00-14:15	休憩	
14:15-14:45	⑤	⑥
14:45-15:15	⑥	②
15:15-15:30	休憩	
15:30-16:30	コメント・ディスカッション	
16:30-16:40	閉会のあいさつ	

コメンテーター

2/13(土) 大森 康宏(立命館大学映像学部教授、国立民族学博物館名誉教授)

信田 敏宏(国立民族学博物館研究戦略センター准教授)

3/7(日) 山根 聡(大阪大学世界言語研究センター准教授)

山中 由里子(国立民族学博物館民族文化研究部准教授)

交通のご案内

■大阪・千里万博記念公園内

- 大阪モノレールで「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車徒歩約15分
 - 阪急茨木市駅、JR茨木駅、北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約15分(茨木方面から、「自然文化園・日本庭園中央」経由のバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。)
 - 自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
 - タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。「日本庭園前駐車場」を利用される方は、「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
 - 自然文化園を通行される場合は、同園の入園料(大人250円、小・中学生70円)が必要です。ただし、大阪モノレール「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。
- 自然文化園(有料)を通して来館される際は中央ゲートにて、このチラシをご提示ください。このチラシをお忘れになった場合は有料となりますのでご注意ください。**

